



いるま

市議会

だより

12月定例会

「令和5年度入間市一般会計歳入歳出決算認定について」など

25の議案等を審議…………… P. 2

定例会議決結果…………… P. 3

令和5年度決算の内容をチェック!… P. 4

令和5年度決算討論…………… P. 6

15名が一般質問…………… P. 8

No.209

令和6年12月定例会号
2025年2月1日発行





令和6年12月 定例会

11月20日～12月12日
会期23日間

「令和5年度入間市一般会計歳入歳出決算認定について」など25の議案等を審議

▶市長提出議案 25件

令和5年度決算認定および関連議案……………10件
 専決処分……………1件 人事案件……………2件
 条例……………4件 一般議案……………4件
 補正予算……………4件

以下の条例を可決しました

一部改正条例	議案第84号	入間市商工業振興条例の一部を改正する条例
	議案第85号	入間市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	議案第86号	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	議案第87号	入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例



市長の所信表明

12月定例会の開会日、2期目を迎えた杉島市長より所信表明がありました。
 市政改革として、3本の柱を掲げました。

- ① 財政再建** 各事業をゼロベースで見直しながら選択と集中を重ね、優先的に実施すべき政策を実現するため、引き続き事業見直し「いるまドック」を推進するとともに、「稼ぐ市役所」を念頭に、クラウドファンディング型ふるさと納税などの新たな歳入確保策を徹底するなど、中長期的視点に立った行財政改革を進めてまいります。「入間市公共施設マネジメント事業計画」に基づいた各事業を着実に進めるにあたり、財政の透明性を確保し、限られた財源の中で最大の成果を引き出し、安定した財政運営を実現することで、将来にわたって安心して暮らせる基盤を築いてまいります。
- ② 未来投資** 本市の未来を支える経済基盤の強化に向けて、市内経済の成長を促進し、雇用の拡大を図るため、新産業団地の整備と企業誘致に取り組んでまいります。また、地域新電力「いるまe-MIRAI株式会社」と連携したGXの取組を通じて、本市における循環経済の確立を目指してまいります。地域の未来に希望をもたらし、次世代に誇ることができる持続可能で魅力的な地域社会を創造するとともに、市民一人ひとりが成長を実感しながら安心して生活できる環境を育ててまいります。
- ③ 教育改革** 子どもたちが互いに学び合い、失敗を恐れず試行錯誤できる環境整備とともに、実社会で学びを実践に生かす機会を提供してまいります。グローバル教育やキャリア教育などを推進するとともに、多様な学びの選択肢を広げ、自分らしく成長することのできる環境をつくってまいります。入間市教育委員会の掲げる、「学び合い学習の推進」「郷土愛の醸成」「新しい学び舎の実現」などの教育改革が実現できるようバックアップしながら、こどもまんなか社会の視点に立ち、すべての子どもが健やかに成長できる入間市を目指してまいります。

議決結果

議案等の詳細は、「入間市議会 情報公開システム」でご覧いただけます。



賛否が分かれた議案等

議案等番号	件名	自由民主党入間市議団								公明党入間市議団				日本共産党入間市議団		市民フォーラム	入間昆クラブ	みらいの会	賛成	反対	議決結果等			
		横田淳一	宮岡治郎	小島清人	鈴木洋明	内村忠久	古仲リカ	長谷川涉	双木小百合	大野勉	池田司	永澤美恵子	金澤秀信	向口文恵	末次正	安道佳子	小出亘	佐藤匡				野口哲次	紺野博哉	吉田賢一
市長提出議案	66	令和5年度入間市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	16	3	原案可決
	67	令和5年度入間市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	16	3	原案可決
	68	令和5年度入間市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	16	3	原案可決
	86	入間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	欠	15	3	原案可決

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席

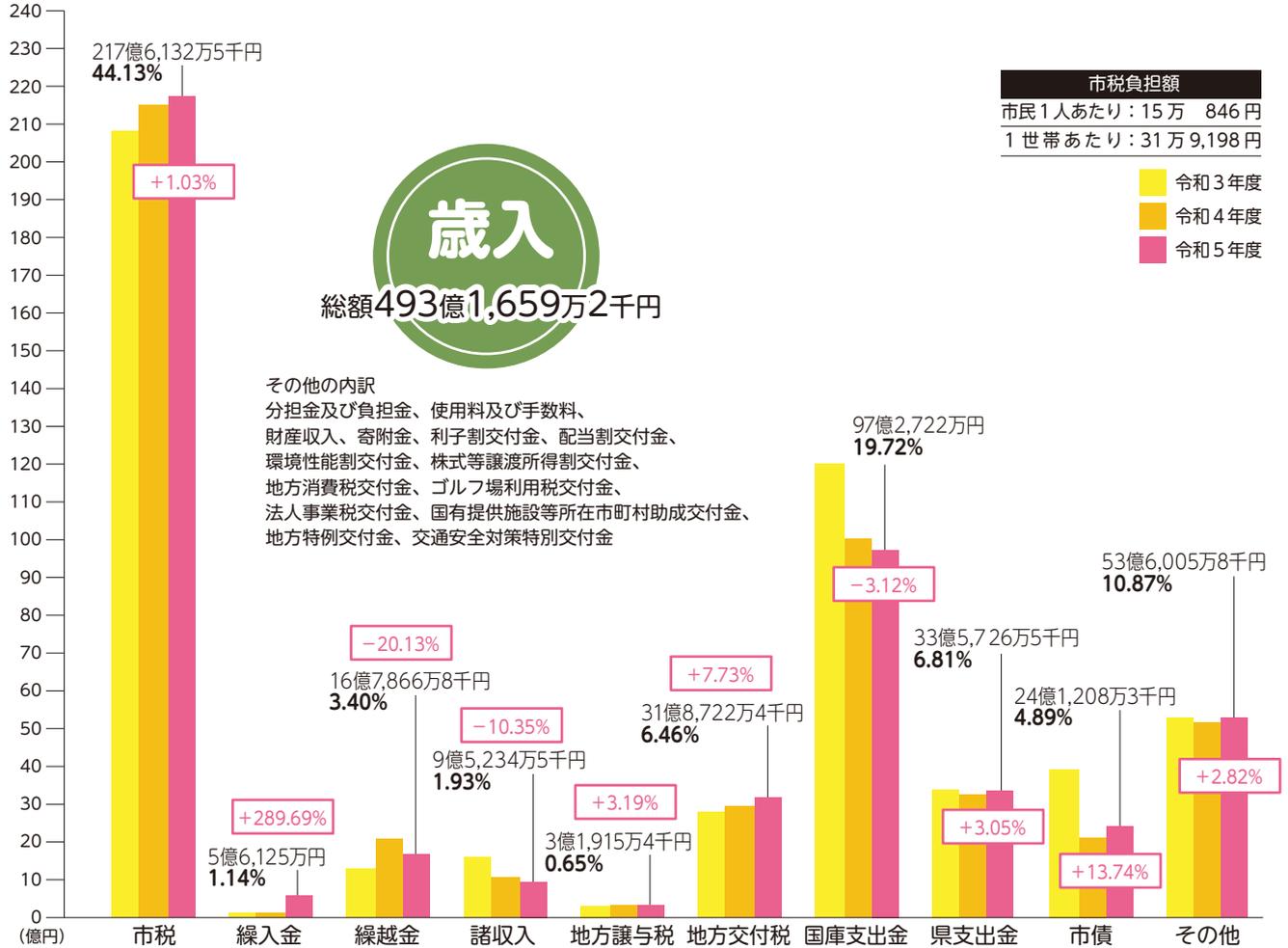
全会一致の議案等

議案等番号	件名	
市長提出議案	69	令和5年度入間市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
	70	令和5年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
	71	令和5年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について
	72	令和5年度入間市水道事業会計の利益の処分について
	73	令和5年度入間市水道事業会計決算認定について
	74	令和5年度入間市下水道事業会計の利益の処分について
	75	令和5年度入間市下水道事業会計決算認定について
	81	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度入間市一般会計補正予算（第4号））
	82	人権擁護委員候補者の推薦について
	83	人権擁護委員候補者の推薦について
	84	入間市商工業振興条例の一部を改正する条例
	85	入間市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
	87	入間市国民健康保険条例の一部を改正する条例
	88	財産の取得について
	89	財産の取得について
	90	財産の取得について
91	入間市地区体育施設等の指定管理者の指定について	
92	令和6年度入間市一般会計補正予算（第5号）	
93	令和6年度入間市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
94	令和6年度入間都市計画事業入間市駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	
95	令和6年度入間都市計画事業扇台土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	

令和5年度 決算の内容をチェック！

一般会計

自主財源260億7,980万4千円（歳入全体の52.88%） 依存財源232億3,678万8千円（歳入全体の47.12%）



市税負担額
市民1人あたり：15万 846円
1世帯あたり：31万 9,198円

■ 令和3年度
■ 令和4年度
■ 令和5年度

※黒色の比率は**全体構成比率**を、ピンク色の比率は**前年度比増減率**を示しています。
※表またはグラフ中の数値は、表示単位未満四捨五入のため、積み上げた数値とその合計値は一致しない場合があります。

特別会計

	歳入	歳出	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
国民健康保険	144億6,938万2千円	144億1,033万7千円	0円	5,904万5千円
後期高齢者医療	22億9,070万2千円	22億6,788万6千円	0円	2,281万6千円
介護保険	121億3,599万9千円	115億4,214万3千円	0円	5億9,385万6千円
入間市駅北口土地 区画整理事業	14億9,643万8千円	12億6,937万3千円	1億 899万4千円	1億1,807万1千円
扇台土地 区画整理事業	4億 891万2千円	3億3,806万7千円	1,916万1千円	5,168万4千円

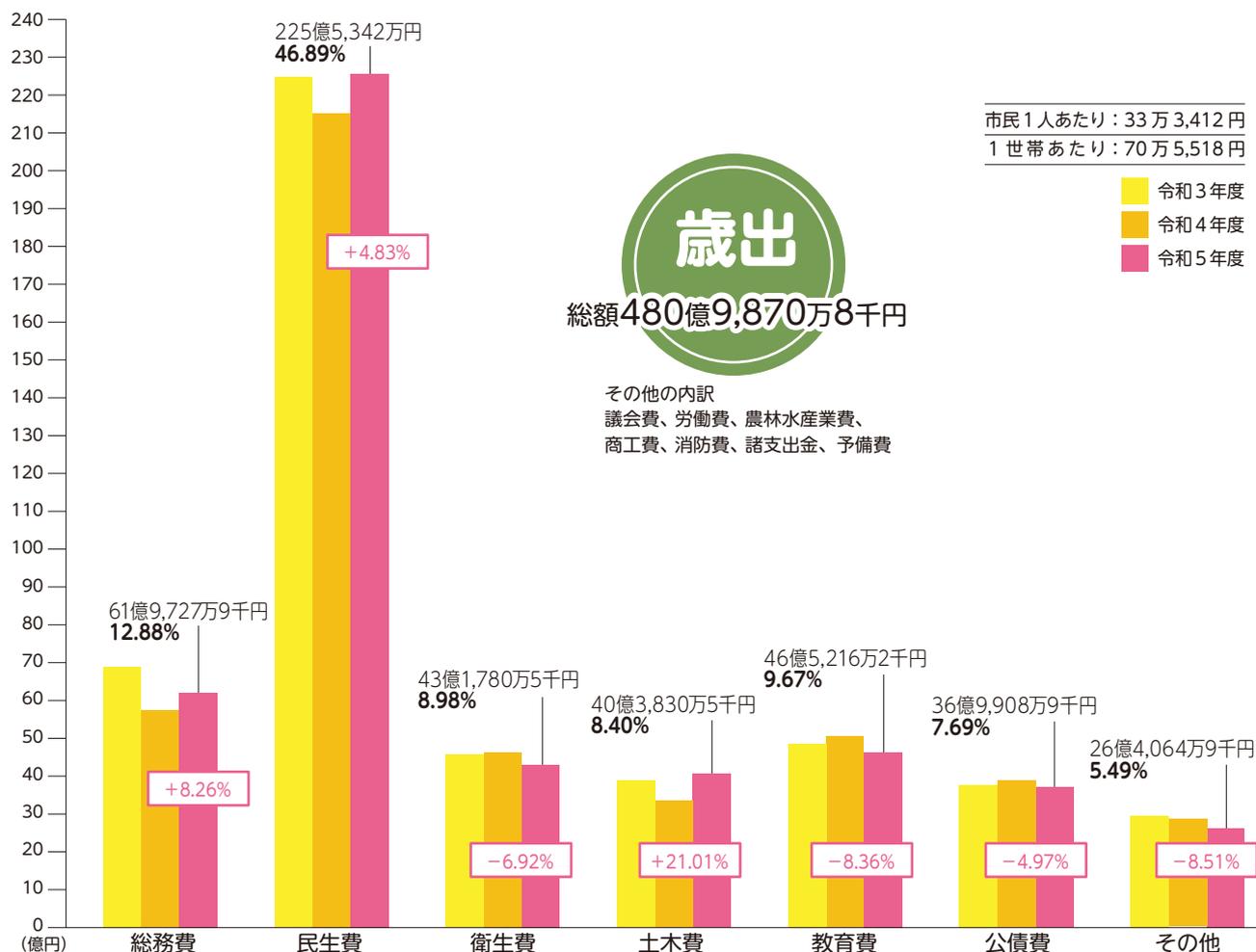
公営企業会計

	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
水道事業	31億4,596万8千円	27億3,483万2千円	6億7,557万2千円	25億9,806万7千円
下水道事業	24億 993万6千円	22億1,232万3千円	1億6,197万5千円	11億 635万8千円

令和5年度決算認定および関連議案については、令和6年第3回定例会において決算特別委員会に付託され、閉会中の継続審査として令和6年9月25日から11月1日にかけて審査を行いました。審査の結果については、令和6年第4回定例会の開会日において報告され、討論と採決を行い、すべて認定及び原案可決と決しました。

一般会計

令和6年4月1日現在 人口144,262人 世帯68,175世帯



決算

令和5年度の決算について、市長から次のとおり概要報告がありました。国の交付金を活用しながら、低所得者に対する給付措置のほか、物価高騰対策を重点的、かつ局面に応じた支援を必要としている方に確実に届くよう、市民・事業者に寄り添った事業を実施しました。令和5年度の一般会計歳入歳出については、差引額12億1,788万4千円となり、翌年度への繰越額2億2,283万3千円を除き、実質収額は9億9,505万1千円で決算いたしました。

用語解説

- 総務費…庁舎や財産の維持管理、税金の徴収、戸籍管理、選挙、統計等に使われるお金
- 民生費…障がい者や高齢者の福祉サービス、子育て支援、保育所、生活保護等に使われるお金
- 衛生費…健康増進、疾病予防、環境保全、ごみ処理等に使われるお金
- 土木費…道路や橋、公園の整備等に使われるお金
- 教育費…学校教育、生涯学習の充実、文化・スポーツの振興等に使われるお金
- 公債費…借入金の返済や利息の支払い等に使われるお金
- 議会費…議会運営のために使われるお金
- 労働費…勤労者の支援等に使われるお金
- 農林水産業費…農林水産業の振興支援等に使われるお金
- 商工費…商工業や観光の振興等に使われるお金
- 消費費…消防や火災予防、災害対策等に使われるお金
- 諸支出金…他の支出科目に含まれない経費に使われるお金

反対

日本共産党入間市議団

一般会計討論

令和5年度から食材費の高騰を理由に、学校給食費を給食のほとんど提供のない8月分も徴収することになった。多くの自治体で、学校給食を無償にする方向が進んでいる。旧黒須銀行復元修理事業で、令和6年度には3億円近くに膨らんだ。子育て世帯への支援こそ優先されるべき。公共施設マネジメント事業による学校保育所の統廃合。公民館を統廃合。総額で110億円の新庁舎整備事業。市民会館の移転新設。マイナ保険証の義務化による紙の保険証の廃止。茶畑を削減する新産業用地創出事業。PFIで公園事業を進めようとしていること。老人福祉センターやまゆり荘の廃止。トレーニング室の利用料金の大幅引き上げ。平和都市宣言推進啓発費が、前年度の15分の1と大幅に縮小。市職員の長時間労働や過重な負担となっている労働環境など、福祉削減を進めた決算について反対討論。

討

論

令和5年度一般会計・特別会計の決算について、賛成・反対の討論をしました。各会派の討論の概要を報告します。

.....

討論の詳しい内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。(本定例会の会議録は2月下旬頃までに掲載する予定です)

賛成

自由民主党入間市議団

一般会計討論

歳入では、市税が企業業績の回復等により増収、地方交付税や県税交付金もおおむね増額。企業版ふるさと納税の獲得、ふるさと寄付金の充実、デジタル田園都市国家構想交付金や地域脱炭素移行・再エネ推進交付金など新たな国庫補助金を活用。スポーツ振興くじ助成金も最大限活用するなど、新規財源確保を評価する。

歳出では、物価高騰対策として生活困窮者や子育て世帯への生活支援、物価高騰に苦しむ市民や事業者への確な経済的支援等を実施された市長、職員の対応を評価する。

ヤングケアラーコーディネーターの配置、学校運営協議会を全中学校区へ導入。6か月分の学校給食費無償化で経済的支援。

新産業用地創出事業の積極的な技術支援、公共施設マネジメント事業計画の実施、脱炭素の推進など、健全かつ持続可能な行財政運営の推進を要望し、賛成討論とする。

賛成

公明党入間市議団

一般会計討論

歳入はふるさと寄付金増に向けて、新たな返礼品獲得への努力を評価。歳出では①魅力ある採用情報により採用希望者が6.5倍増となったことを評価。②行財政改革推進について、市民に大きく影響を及ぼす事業の廃止等においては、十分な説明責任を果たすよう要望。③ゼロカーボン推進事業を評価すると共に、今の投資が多くの市民の行動変容につながる模範的事業展開を要望。④学童保育室の待機児童の減少を評価。障がい児入所時の支援員の加配を要望。⑤不登校対策では不登校研修会等の実施を評価。不登校児童の居場所づくりの多様化を要望。⑥物価高騰対策として小中学校等の学校給食費の半年間の無償化、プレミアム付き電子商品券事業などを評価。

今後も物価高騰に苦しむ市民生活に寄り添い、市職員が一体となって厳しい財政運営を乗り切る不断のご努力を要望し賛成。



入間市
マスコットキャラクター
「いるティー」

反対

日本共産党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

令和6年度からは資産割及び平等割をなくし、所得割、均等割の2方式へ変更され、医療費給付費分、後期高齢者支援金等分、介護納付金分がそれぞれはね上がることになる。国は国保への1兆円の投入を実現すべきである。市民のさらなる国保税負担増を許すことは、市民の将来への希望を失うことになる。よって本決算に反対である。

(後期高齢者医療特別会計)

窓口での自己負担割合はすでに1,765人が3割負担である。今回、1割負担だったものの内、入間市民の6,589人が2割負担へと引き上げられている。

被保険者の負担を軽くするためにも、さらに軽減割合を拡充し、繰入れを拡大することが望まれる。そのためにも国庫負担割合の増を国に要請することを強く求める。よって本決算に反対である。

賛成

自由民主党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

収納率における高水準の持続は、税負担の公平性を確保していることはもとより、関連部署との連携等、たゆまぬ努力による結果であると推察できる。今後も、国の動向を注視しつつ、県と更なる連携を図りながら、地域医療の確保を堅持するとともに、財政運営の健全化に向け、一層の努力をされることを要望し、賛成とする。

(後期高齢者医療特別会計)

令和5年度の決算状況は、歳入総額が22億9,070万1,576円、歳出総額は、22億6,788万5,628円であり、歳入歳出差引額は、2,281万5,948円の黒字となっている。誰もが安心して医療を受けることができること、また、高齢者世代と現役世代の医療費負担の公平性を保ちながら、引き続き保険料の収納体制を適切に対応して頂くことを要望し、賛成とする。

賛成

公明党入間市議団

特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

歳入は、団塊世代の後期高齢者医療制度への移行と、被用者保険への移行によって減少。不足分を一般会計と法定外繰入金で繰り入れで補填。歳出は、被保険者の減少で保険給付費は減額したが、一人当たりの給付費は増額。令和9年度の保険税水準の準統一に向け、段階的な税率改定と、法定外で6億円の繰り入れで被保険者負担の抑制は評価。ジェネリック医薬品利用、適正服薬促進、慢性腎臓病の重症化予防の受診勧奨等を推進されることを要望し賛成。

(後期高齢者医療特別会計)

歳入歳出とも団塊世代の後期高齢者医療制度への移行で増加。収納率が99.45%と高水準を維持していることや、窓口負担が2割になる方には、負担増加額を月3,000円に抑える措置については評価。フレイル予防、健康づくり諸施策の充実を要望し賛成。

一般質問

市政の“ここ”が聞きたい!

一般質問とは、議員が市長などの執行部に対して、事務の執行状況や将来の方針、課題などの行政全般について質問することです。

12月定例会では、3日間にわたり15人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。各議員の質問と答弁の内容を掲載します。

※ 質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



各議員の一般質問の録画映像をご覧ください。QRコードからアクセスしてください。



やまゆり荘の今後・ 学童支援員加配・防犯

永澤 美恵子 議員



質問 「やまゆり荘」は今年度末に老人福祉センターの運営を終了し、閉鎖される。今後の使用に向けた協議状況は。

福祉部長 「いるまドック」事業見直しの評価を受け検討。多額の改修費用に対して効果的な利用が見出せないことから廃止。

質問 4年後統合予定の現宮寺・二本木地区センターはエレベーターもなく手狭。スペースも広く公共交通も確保されている「やまゆり荘」を補修し、地区センター機能を移転することで、統合後の活動や市全体の高齢者の利用も継続できるのでは。

市長 様々な利用方法を検討する。

質問 学童保育室では障害児を受け入れても支援員の加配がない。保育所同様、支援員を加配し児童を安全に預かる体制を。

子ども支援部長 基準より多く配置しているため、支援員増は難しい。

質問 強盗傷害事件を防ぐためには地域の見守りなどの強化が必要。①地域防犯ネットワーク「APOC」を中心とする徒歩や安全協会の車両でのパトロール推進を②通学路等への防犯カメラの設置計画は③防災無線やSNSにおける強盗未然防止対策・地域の不審者情報の発信強化を。

危機管理安全部長 ①調整する。②小中学校への設置完了後進める。③強化する。



令和6年度末に閉鎖となる
老人福祉センター「やまゆり荘」



難聴予防で健康な生活を

末次 正 議員



質問 難聴が認知症に及ぼす影響を問う。

福祉部長 会話が困難になることで、心理的圧迫を受け、意思疎通の困難さから孤独感が増し、認知症リスクを高める。

質問 ヘッドホン難聴が問題とされている。教育現場での難聴予防啓発を問う。

教育部長 校長会議等で予防周知を図る。

質問 高齢者向けの難聴予防啓発を問う。

福祉部長 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会と協定し、ヒアリングフレイルチェックアプリの普及を図っている。

質問 中高年向けの難聴予防啓発を問う。

健康推進部長 中高年向けに行っていないが、健康相談等で予防の情報提供を行う。

質問 聞こえの悪さを改善する最新技術の一例として、軟骨伝導が注目されている。

最新技術の情報を提供することは有効では。

健康推進部長 まずは耳鼻咽喉科への受診を勧めていく。

質問 プログラミング知識不要のノーコードツールの活用を検討されては。

企画部長 本市ではLoGoフォーム、LINEアカウント連携システムを導入している。

質問 汎用性の高いノーコードツールを活用することが、職員のモチベーション向上に資するのでは。

企画部長 職員に効果があると認識する。

年代	男性	女性
60～64	18.8%	10.6%
65～69	43.7%	27.7%
70～74	51.1%	41.8%
75～79	71.4%	67.3%
80～	84.3%	73.3%

急激に増加

表：難聴の有病率 ※25dB（デシベル）以上

難聴の「有病率」65歳以上から急激に増加します。



市境の木造住宅密集地域の消火用水能力向上

金澤 秀信 議員



質問 隣接市との市境の地域は配水場から遠くなるにつれて上水道の口径も細くなる。市境の木造住宅密集地域の同時多発火災への消火活動に必要な水量等は、配水管の口径の設計上想定されているか。

上下水道部長 日本水道協会の指針では同時多発火災への対応は想定していない。

質問 今後は消防部局と連携し、木造住宅密集地域を中心に、同時多発火災に対応可能な配水能力の検討をすべきでは。

上下水道部長 消防署から要請があれば検討する。

質問 小学校の発達障がい児及び発達障がい疑われる児童数の推移は。

教育長 令和2年度は335人。6年度862人。

質問 落ち着いた学習環境の維持や教員

の負担軽減の為、発達障がい児の増加に対応した小中学校の子ども支援員の増員を。

教育長 必要性は認識。増員を要望する。

質問 現在PTA役員の負担軽減が求められている。運動会などの学校行事で常態化している駐輪場整理役員などのPTA役員の割り当て任務を業者に外部委託して、保護者が我が子の競技を十分に見学できるようになった県外の事例を市内の各PTAに紹介できないか。

教育部長 負担軽減策を紹介する。



令和5年3月に続いて令和6年7月の東藤沢地区内の建物火災



こどもまんなか社会・パークPFIについて

吉田 賢一 議員



質問 こどもまんなか社会に向けた取り組みの現状は。

こども支援部長 令和2年に児童発達支援センター「ういず」を設置。令和4年に「入間市ヤングケアラー支援条例」を制定。令和6年に「こども家庭センター」を設置。12月には、新たな地域子育て支援拠点を開設。

質問 こどもまんなか社会への課題は。

こども支援部長 関係部局、関係機関等とのさらなる連携が重要である。地域で活動される市民団体のみなさんとの連携や協力が重要である。

質問 こどもまんなか社会に向けた、今後の展望は。

こども支援部長 策定した「入間市こども

計画」を基本とし、様々なこども施策を進めていく。

質問 市長の思い描く「こどもまんなか社会」とは。

市長 元気なこどもが育つまちを目指し、所信表明で述べた、教育改革が実現できるようにバックアップしながら、こどもまんなか社会の視点に立ち、全てのこどもが健やかに成長できる入間市を目指す。

【その他】パークPFIについて、長時間の停電時における施設の対応について



入間市子育て特設サイト「くーくすだーだ」



入間市駅北口土地区画整理事業について

小島 清人 議員



質問 霞橋の架け替えについて。①現在の進捗状況と工事が遅延した理由は。②今後のスケジュールは。

都市整備部長 ①埼玉県と入間市の共同事業で、令和元年度から工事を実施。令和6年9月に本橋が完成し10月28日より車道部で両車線が開通し、歩道は令和7年3月までには開通し、遅延は追加工事が発生し期間を要した。②仮橋及び迂回路の撤去、護岸の復旧工事を埼玉県と入間市がする。

質問 北口中央通り線の整備状況は。

都市整備部長 令和4年度より始まり、歩道整備、新設道路が鉄道ガード付近より北口方面へ向け整備し利用をしている。

質問 地下調整池の状況は。

都市整備部長 雨水の流出量が増加する

ことで流末である霞川の氾濫を防ぐための貯留施設。国道16号より南側の地域の一部と駅南口の留保地部分を見込み、設置予定箇所の土留め工事を進めている。令和7年10月末の工事完了を予定している。

質問 擁壁の状況は。

都市整備部長 宅地擁壁の一部として整備し、低宅地と高宅地が形成されていく。

質問 事業全体の今後のスケジュールは。

都市整備部長 令和24年度に完了予定。

【その他】公園管理と学校の樹木管理



開通した霞橋と撤去工事が進む迂回路の復旧工事



西武中学校の校舎建替 市内の水道の安定給水

宮岡 治郎 議員



質 問 西武中学校について。(1)戦後の学制改革から現在に至るまでの沿革は。(2)令和11年度に新設開校する、統合した西武中学校の生徒数・学級数の見込みは。(3)校舎の敷地内での配置や面積・階数等の検討は。

教育部長 (1)昭和22年西武小学校敷地内に開校。昭和31年新校舎が落成して現在地に移動。昭和52年西校舎、昭和57年第2グラウンドが完成。(2)1年生134人、2年生160人、3年生153人の合計447人で、12学級となる見込み。(3)現在の校舎の位置を想定。延床面積は8,000㎡程度で、現在の校舎の1.2倍程度。階数は3階か4階を想定。「新しい時代の学び舎」となるよう設計を進める。

質 問 水道の安定的な給水について。(1)水源の確保の実態は。(2)市内の送水管と各

配水施設の、地震や停電での対策は。(3)配水管と戸別の給水管の経年劣化への対策は。
上下水道部長 (1)群馬県の山岳地帯の冬季の積雪は、ダムの貯水に繋がる。河川下流の埼玉県の間宮水道から市に送水され、湯水時の対策として機能している。(2)送水管と配水場5施設は耐震化が済んでいる。非常用自家発電機も備えており、停電時には切り替わる。(3)各地区に配水する重要な管については、複数経路を確保し、工事に併せて、給水管も更新して性能向上を実施。



西武中学校を、南側の上空から観る。
令和7年度から10年度に、建替工事があ



窪堀流域環境・希望を 語れる学校環境づくり

双木 小百合 議員



質 問 窪堀流域環境の歴史と流域治水は。
環境経済部長 金子地区の県営畑地総合土地改良事業(施工期間S.47~H.4)の区域は窪堀流域である。流域の雨水は木蓮寺を起点とし、上谷ヶ貫地内にて霞川に合流する窪堀が受けている。窪堀は、延長1,852mのRC三面張、上流側幅1.6m、下流側幅1.8m、深さ0.8~1mで、S.51~54に整備後、県から本市に移管された。現在は都市整備部の所管。

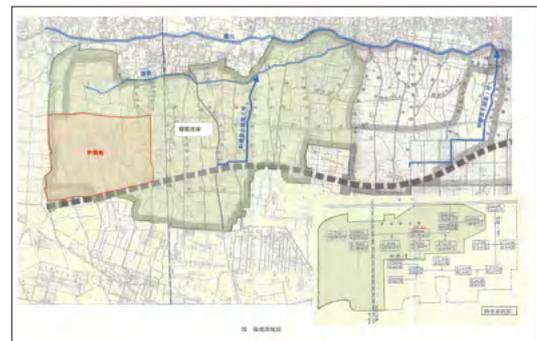
質 問 窪堀流域内の新産業創出ゾーン約56haの雨水処理が窪堀に影響しない理由は。

都市整備部長 県条例で調整池築造、水量調整し桂通り排水を整備し窪堀に接続。

質 問 新産業創出ゾーン環境影響評価は。

都市整備部長 関係市町の公告縦覧を経て計画書への県知事意見が市に通達される。

質 問 希望を語れる学校環境づくりとは。
教育長 子どもたちの夢の実現に向け失敗を恐れず話せる心理的安全性担保が重要。子どもたちがSOSを発信しやすく、これを見逃さず、寄添い話を聴くスクールカウンセラーを含む専門家等との対面での教育相談体制がある。また、県と市が設置するアプリのオンライン相談機能と組み合わせ、こどもたちが頼れる相手を選べる。保護者も電話で相談が可能。教育・福祉・保健の連携で家庭支援と併せ、教育環境を改善する。



【窪堀流域図】 令和5年度入間市新産業団地基本計画策定業務委託報告書より



子育て支援事業・ 防犯警戒活動の強化を

古仲 リカ 議員



質問 入間市が「安心して子育てできるまち」として居住地に選んでもらえるよう、本市の子育て支援事業を中心に事業内容などを質問①産前・産後ケア事業②子育て応援ギフト事業③放課後こども教室について。

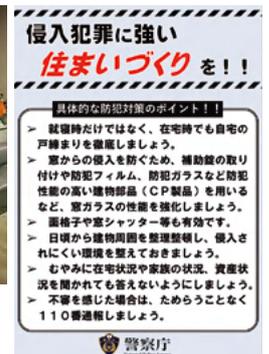
こども支援部長 ①「訪問型」「ヘルパー派遣」「宿泊型」「通所型」と4事業を実施しているのはダイア5市でも本市のみである②令和5年4月1日以降に入間市において出生した子の父または母に対して五千円分の電子マネーを贈呈③放課後等に小学校の教室等で地域住民の参画を得て、様々な学習や体験、交流活動の機会を提供。

質問 「闇バイト」で集められた集団の犯罪行為に不安を感じている。市民へ防犯対策の周知、防犯警戒活動の強化を質問。

危機管理安全部長 狭山警察署や防犯機関・団体と連携し様々な媒体で注意喚起。自主防犯対策として◎在宅時対策は、出入口や無人の部屋の窓は常に施錠。むやみに人を家にあげない。長期不在時は隣近所へ声掛けや郵便物の配達を止める◎住宅防犯対策は、センサーライトや防犯カメラの設置◎電話犯罪対策は、留守番電話機能を活用、NTTの無償提供などを利用(70歳以上)。【その他】小・中学生へ向けた闇バイト勧誘に対する注意喚起の指導、周知について



市役所「こども支援課」



具体的な防犯対策のポイント
(警察庁 HP より)



行政運営・行政事務・ 文化行政

大野 勉 議員



質問 財政再建策としての自治体クラウドファンディング推進の基本的な考え方は。

企画部長 ふるさと納税制度を活用した制度であり、解決したい課題や取組に共感された方々から寄附金を募る仕組みで、今後も、市のPRにつながるような事業など様々な分野を想定し、推進していきたい。

質問 市役所におけるカスハラ^{かすはら}の状況は。
総務部長 無理難題や過度な要求を長時間主張されるようなカスハラとなりうるケースも見受けられ、近年、公正かつ適正な職務の執行を確保することが困難な事例も増えてきている状況である。

質問 行政対象暴力への基本姿勢は。
危機管理安全部長 職員が毅然とした態度で臨み、組織を挙げて取り組む。

質問 入間市内の茶場碑の状況は。
教育部長 宮寺の出雲祝神社に重閣茶場碑^{かさねてらくらぢやしょうひ}と茶場後碑の2基、中神の豊泉寺に狭山茶場碑、新久の龍圓寺に北狭山茶場碑の計4基があり、江戸時代後期から明治期の狭山茶業のはじまりのころ、それぞれの地域の茶業を顕彰するために建てられたもの。

質問 日本一の道標の管理は。
環境経済部長 樹木の剪定、除草、ごみ拾い等の清掃活動を入間市茶業協会の事業として、地元の東金子の協会会員が管理。



北狭山茶場碑と日本一の道標



県営水道の値上げ報道 と入間市への影響

内村 忠久 議員



質問 県水値上げ報道による市への影響。

上下水道部長 市水道事業は自己水2割県水8割で賄っており県水値上げは純利益減少は避けられず、今後耐震化や老朽化対策の施設整備や維持管理に大きく影響する。

質問 入間市での水道料金改定の検証は。

上下水道部長 中期耐震化計画策定後、具体的検討は令和7年度以降の見込み、その後、水道審議会及び議会に諮る。

質問 入間市水道料金改定の時期は。

上下水道部長 収支バランスを精査し収入を超える支出が継続する状況が確認されれば、令和8年度以降の時期を考えている。

質問 消防団第一分団第一部一斉退団後所管する空白地域の対応状況は。

危機管理安全部長 分団ごとの活動が主体

となっており空白地域を生まない体制が組まれると理解している。大規模火災等発生時には、指揮命令のもと、弾力的な運用が行われるものと理解している。

質問 消防団員の担い手不足への認識は。
危機管理安全部長 非常に危機感を抱いている。団の存続自体困難と懸念している。

質問 消防力向上の消防団活動への見解。

市長 消防団の存在は地域の消防力向上に必要不可欠。応援、協力体制を構築する。

【その他】BCP策定義務化と市内関係施設



消防力向上に向けた
消防団特別点検の様子



コミュニティバス 子どもの貧困

野口 哲次 議員



質問 令和5年度策定の公共交通計画では、コミュニティバスの「運行本数、ルート、ダイヤの見直し」を課題の一つとしている。検討状況は。

都市整備部長 利用者が少ない「ていーワゴン」の宮寺・二本木・武蔵藤沢駅コースの調査を行っている。その結果をもとに見直しを行っていく。

質問 「ていーろーど」や「ていーワゴン」の他のコースでは、空白地域の解消や利便性の向上の声がある。今後の予定は。

都市整備部長 財政状況等を踏まえ、検討していく。

質問 令和2年に策定された入間市子ども・若者未来応援プランでは、「経済的な理由から困難を抱える子供へコーディネー

ターの配置」を定めていた。しかし、杉島市長のときに配置しないと。一方、ヤングケアラーに対しては、コーディネーター2名が配置され、面談や家庭訪問を通じて支援につなげている。貧困に陥っている

子どもに対しても、コーディネーターが必要では。

こども支援部長 こども家庭センターの

社会福祉士の資格を持つ職員が中心となり、関係機関と連携し寄り添った支援を行っている。



ていーろーど・
ていーワゴンの車両



平和事業の推進・市民会館の耐震化で活用を

安道 佳子 議員



質問 入間市平和都市宣言では、核兵器の廃絶を掲げている。日本原水爆被害者団体協議会がノーベル平和賞を受賞した。市HPや市報等で祝意の表明を。

市長 1956年創設以来、核兵器廃絶の活動を続けてきたことが評価された。市HPや市報での祝意表明等は考えていない。

質問 平和事業費は令和元年度約92万円が、令和5年度は約4万円。削減の理由は。

市長 平和推進事業は継続しているが、コロナ後、広島平和祈念式典への市民派遣は費用対効果の観点から実施していない。

質問 所沢市は若者の広島派遣を重要視。入間市も広島派遣事業を再開すべきでは。

市長 現状でも平和事業を効果的に進めており、広島派遣は実施しない。

質問 入間市駅前側留保地事業計画の進捗状況と市民意見の反映は。

企画部長 庁内協議中で県・国との協議も含め複数年必要。その後、審議会に諮り、パブリックコメントを実施する。

質問 当面、入間市駅前側留保地の事業着手は見通せない。市民会館を耐震補強し、文化芸術鑑賞・活動拠点として活用すべき。

市長 市民会館は廃止した。市民ホールの建設も含め、駅前側留保地の開発を進めている。見通せない事業ではない。



令和5年4月から閉鎖されている市民会館の様子



健康福祉センターレストラン・移動スーパー

向口 文恵 議員



質問 健康福祉センターの「レストラン」空きスペースの活用を①閉所の経緯②継続的な運営の課題③健康事業を飲食も含めて総合的に運営する事業者との連携は。

健康推進部長 ①平成15年4月に民間事業者が営業を開始したが振るわず、その後障害者団体により20年間継続したものの閉鎖②来所者が限定され採算が取れないことや、厨房設備など改修費用が莫大となること。立地条件など誘客面が課題③他自治体の好事例を参考に効果的活用を研究する。

質問 高齢社会の進展に伴い、免許返納・移動手段がない・歩くのが不自由など日々の買い物に困る買い物困難者が増えている。移動スーパーは、買い物支援に加え高齢者の見守りや災害時の救援など、市民へ

の支援に繋がる。事業者と更なる連携を強化すべき①実施状況②利用したい方への周知は③市として体制整備の主導を。

福祉部長 ①2事業者により3地区11か所で実施②販売場所の近所の方や自治会掲示板、高齢者のサロン等で情報提供③各地区の地域包括支援センターのコーディネーターが事業者と自治会と連携・調整を図る。【その他】「健康福祉センター、リサイクルプラザ会議室の有効利用」「生理用品自動提供機の設置で女性の生活の質向上」



移動スーパーで買い物をする様子



やまゆり荘の廃止撤回 と狭山台地区近隣公園

佐藤 匡 議員



質問 やまゆり荘の利用者数の推移は。
福祉部長 S46年宮寺地区に開設しH5年現在の場所に移転。その年の利用者数は27,210人。ピーク時はH13年度の68,965人。高齢者人口の増加に反してH30年度には36,645人。コロナ禍明けのR5年度は20,200人となった。

質問 機能終了の理由は。

福祉部長 公開事業見直しで検討し市民アンケート調査も踏まえた。改修には概算で1億8千万円かかり、立地において宮寺地区限定的な施設となることが想定され、多額の改修費用に対して効果的な利用方法を見い出せないため閉鎖することとした。

質問 やまゆり荘を宮寺地域に残すべき。

福祉部長 高齢者のライフスタイルやニーズの多様化が利用者減少の原因。様々な

社会資源の増加、利用者の減少、高額な改修費用等をふまえ、やむを得ず、やまゆり荘の運営を終了することとした。

質問 土地利用に対する地域住民の要望。
都市整備部長 R4年度に地元自治会より公園用地にスーパーマーケット等の食料品を取り扱う商業施設の誘致をという内容で要望書が提出されたことを受け、市では公園用地の効率的活用を目的として商業施設と公園を一体的に整備すること等の官民連携事業の実現について検討してきた。



老人福祉センター「やまゆり荘」



通学安全確保・生理用品をトイレに

小出 亘 議員



質問 統合により西武中の生徒が令和7年4月から野田中に通学することになる。検討会議などから危険な場所40か所が抽出された。そのうち簡易な路面補修・グリーンベルト・路面標示などの早期に対応できる対策については5年度から順次対策を実施しているとのことだが進捗状況は。

教育部長 合計17か所が終了している。

質問 ハード面での対応が困難な箇所については人員配置などでの対応をするとのことだが、計画の進捗状況は。

教育部長 2か所への人員配置が決定している。

質問 来年4月には通学が始まる。それまでに安全対策は完了するのか。

教育部長 すぐに対応するのは難しいと

ころがあるが、模擬登校・交通安全教室などを行った。これからも課題を詰めて安全確保できるよう努力する。

質問 小中学校のトイレへの生理用品の設置は飯能市・狭山市で実施し、所沢市は学校の判断に任せている。入間市は保健室に取りに行けば配布するが、生徒にとってハードルとなる。トイレに設置すべきでは。
教育部長 生徒が保健室に受け取りに行くことで生徒の状況を把握することができる。当面この形態で進めたい。



通学の危険が予想される上橋通り

《訂正とお詫び》前号№208の小出亘議員の一般質問の記事において、仏子地区上橋南側市道の歩道についての質問に対する答弁者を市長と掲載しましたが、都市整備部長の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

テレビ・ラジオでも放送しています

ケーブルテレビ



ICTV. 入間ケーブルテレビ

テレビ地上

111チャンネル

▶ 議会開催日当日
午後6時から

※お手持ちのテレビリモコン11チャンネルでご視聴ください。

ラジオ



エフェム茶笛
FM CHAPPY 77.7



77.7MHz

▶ 議会開催日当日
午後10時から

※どちらも放送は本会議のみとなります。（委員会の放送はありません。）



議会を
傍聴
してみませんか？

市議会で行われる本会議や委員会は、どなたでも傍聴することができます。議会活動や市の施政方針、身近な問題が審議・決定される等、市議会の活動にふれることができる身近な方法です。

また、車いすでの傍聴、聴覚に障害がある方等の傍聴（ヒアリンググループ・手話通訳者、要約筆記者派遣は事前に申請が必要です。）もできますので議会事務局までご連絡ください。

いるま市議会だより No.209



表紙／雪といるティー

編集／議会広報委員会

- ◎宮岡 治郎
- ◎双木小百合
- 佐藤 匡
- 池島 司
- 吉田 賢一
- 末次 正
- 金澤 秀信
- 古仲 リカ
- 内村 忠久

発行／入間市議会



入間市議会

http://www.city.iruma.saitama.jp/gyosei_joho/83/index.html

2月定例会日程案

- 1月29日（水）開会
- 2月 6日（木）総括質疑
- 2月 7日（金）総括質疑
- 2月10日（月）総務常任委員会
- 2月12日（水）都市経済常任委員会
- 2月13日（木）福祉教育常任委員会
- 2月17日（月）一般質問
- 2月18日（火）一般質問
- 2月19日（水）一般質問
- 2月27日（木）閉会

※今年度は、入間市議会議員の改選があるため、2月に定例会を開催予定です。

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。